

日本語指導学習指導案

〇〇市立〇〇小学校 日本語指導担当 〇〇 〇〇

1 日 時 2010年2月12日(金) 13:55~14:40

2 場 所 本校 ワールドルーム

3 対象児童の実態

○F (女児)

第3学年 国籍—インドネシア 母語—インドネシア語

2009年〇月〇日 来日 在籍年数—約1か月

母親が大学院へ留学のため来日 在留予定—3年

父親も4月に大学院を受験の予定

・日本語の力

ひらがなの学習中で、清音、濁音、破裂音が終わり、拗音、促音、長音に移行中である。あいさつや簡単な自己紹介ができる。理解力、暗記力に優れ、学習した内容を確実に身につけている。英語ができるので、理解しにくいときは、英語を併用している。

・ワールドルームでの学習

在籍学級の国語科、社会科の時間に取り出して、週に8時間、ワールドルームで日本語を学習している。かけ算九九の理解が確実でないので、その復習をしている。

・家庭の環境

熱心なイスラム教徒で、F児も決められたお祈りを欠かさない。両親とも日本語がほとんどわからないので、家庭ではもっぱらインドネシア語で会話をしている。

○I (男児)

第4学年 F児の兄 *状況は、F児と同じ

・日本語の力 F児と同じ

・ワールドルームでの学習

在籍学級の国語科、社会科の時間に取り出して、週8時間、ワールドルームで日本語を学習している。非常に整った字形のひらがなを書くことができる

○E (女児)

第2学年 国籍—フィリピン 母語—フィリピン語(タガログ語)

2009年〇月来日 在籍年数—約7か月

父親が日本の企業に就労しており、呼び寄せで来日 在留期間—未定

・日本語の力

日常会話はかなりできるようになり、自分の意思を相手に伝えることができるようになってきた。日本語で表現が困難なときは、英語で意思を伝えようとする。教師が英語を聞き取れないときは英語での筆談を試みるなど、状況判断に優れている。

・ワールドルームでの学習

在籍学級の国語科、道徳の時間に取り出して、週7時間、ワールドルームで日本語の学習をしている。算数科では、計算など基本的なことはできるが、文章題は意味が理解できないことが多い。

3学期からは、該当学年の国語の教科書で学習を始めた。

・家庭の環境

両親は日本語がほとんどわからないので、家庭ではもっぱらフィリピン語（タガログ語）か英語で会話をしている。母親はマニラ大学の英語科教授で、現在は休職中である。

○M (女児) 第5学年 E児の姉 *状況は、E児と同じ

・日本語の力

日常会話はかなりできるようになり、積極的に友達と関わろうとしている。現在、2年生後半の漢字を学習しているが、意欲的な態度で進んで練習に取り組んでいる。

在籍学級に英語を母語とする男児がいるので、そのサポートを受けながら教科学習を進めることができる。

・ワールドルームでの学習

在籍学級の国語科、社会科の時間に取り出しで、週7時間、ワールドルームで日本語の学習をしている。

3学期からは該当学年の国語の教科書で学習を始めたが、漢字に苦労している。

○A (女児) 第5学年 国籍－エジプト 母語－アラビア語

2006年〇月来日 神戸市内の別の小学校の2年生に編入学

2008年〇月 本校4年生に転入学

在籍年数－約3年3か月（本校在籍－1年4か月）

父親が大学院に留学のため来日 本年8月に帰国予定

本校の3年生に、妹が在籍

・日本語の力

日本での滞在期間が長いので、日常会話にはほとんど問題はない。しかし、母語であるアラビア語の横書き表記が日本語と全く逆方向になるので、文字（かな、漢字）の習得には非常な困難があり、現在も漢字の読み書きに苦労している。漢字には抵抗があるが、社会科には大変興味があり、5年生の内容をほぼ理解している。

・ワールドルームでの学習

在籍学級（M児と同学級）の国語科、社会科の時間に取り出しで、週7時間、ワールドルームで社会科、漢字、音読の学習をしている。

3学期から、M児とともに該当学年の国語の教科書で学習を始めたが、やはり漢字に苦労している。

・家庭の環境

両親とも日本語がほとんどわからないので、家庭ではアラビア語で会話をしている。帰国後の教育を考え、家庭でアラビア語の学習を続け、日本国内で行われるアラビア語の検定試験も毎年受験している。

イスラム教徒で、姉妹ともラマダンを経験している。

4 本時の学習形態

本時は日本語能力のそれぞれ異なった5人の児童が、同じ内容の活動をしたり、三つの異なる学習内容に取り組んだりする「複々式」の学習形態になる。これは本学級ではごく普通のこと、指導者としてはどのように効率的に学習を構成するかということに頭を悩ますが、共に日本の学校で学ぶ者として子どもたちの連帯感を養う場でもあるので、子どもたちが違いを認め合いながら、助け合って楽しく学ぶ時間としたい。

5 本時の目標

○F児、I児

- ・はっきりとした言葉遣いで自己紹介をすることができる。
- ・体の部分の名称を覚え、その名称を使った表現ができる。
- ・楽しくゲームに参加し、進んで活動できる。

○E児

- ・はっきりとあいさつができる。
- ・自己紹介で、ワールドルームの紹介をつけくわえることができる。
- ・「スーホの白い馬」の学習で、今日の場면을説明し、スーホや白馬の気持ちを想像して、それを文章に表現することができる。
- ・楽しくゲームに参加し、協力して活動することができる。

○M児、A児

- ・自己紹介で、自分の国のことを紹介することができる。
- ・「大造じいさんとガン」の学習で、今日の場면을説明し、じいさんの気持ちや場面の様子を想像して、それを文章に表現することができる。
- ・楽しくゲームに参加し、F児やI児をサポートして活動することができる。

6 本時の学習

○準備物

練習カード（日にちの言い方、曜日の言い方）、ラジカセ・テープ（今月の歌）
カルタ、ワークシート（「体の部分」「ねじれた音」「ものの数え方」「スーホの白い馬」「大造じいさんとガン」）

○展開

学習活動	F児・I児の活動	E児の活動	M児・A児の活動
1. 始めのあいさつ	○元気にあいさつする。	・日にち、曜日を入れてあいさつをする。	・今日の天気や、出来事、予定をつけ加える
2. 「今月の歌（1月の歌）」を歌う。（「幸せはこべるように」）	○覚えているところをしっかりと歌う。	・自信をもって歌う。	・後で、感想を言うことができる。
3. 自己紹介をする。	○はっきりと言う。	・ワールドルームの紹介を入れて、自己紹介をする。	・自分の国の紹介を入れて、自己紹介をする。
4. 言葉のレッスンをする。	○漢字の曜日を読む。空で覚えて言う。	・「ものの数え方」を言う。	・「一日～十日、二十日」を言う。
5. 「ひらがなカルタ」をする。	○F児はE児と、I児はM児、A児と二人組みになって、カルタを取る。	・F児と二人組みになって、カルタを取る。	・交替で読み札を読む。読み手でないときは、札を取る。

<p>6. 各自の学習課題に取り組む。</p>	<p>○「体の部分」の名前を覚え、覚えた名前を使って表現の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「頭が痛いです。」 ・「手が大きいです。」 ・「足が長いです。」 <p>○「ねじれた音」の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読む。 ・書く。 	<p>○「スーホの白い馬」をワークシートを使って学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読む。 ・場面の様子やスーホの気持ちを想像して文章に書き、発表する。 	<p>○「大造じいさんとガン」をワークシートを使って学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相互に読んで、聞き合う。 ・場面の様子や大造じいさんの気持ちを想像して文章に書き、発表する。
<p>7. 「体の部分の名前」を使ったゲームをする。</p>	<p>○学習したことを使って、楽しくゲームに参加する。</p>	<p>○途中から、リーダーになってゲームに参加する。</p>	<p>○途中からリーダーになってゲームに参加する。</p>
<p>8. 終わりのあいさつをする。</p>	<p>○元気にあいさつをする。</p>	<p>○代表して、あいさつをする。</p>	<p>○参観者へあいさつをする。</p>